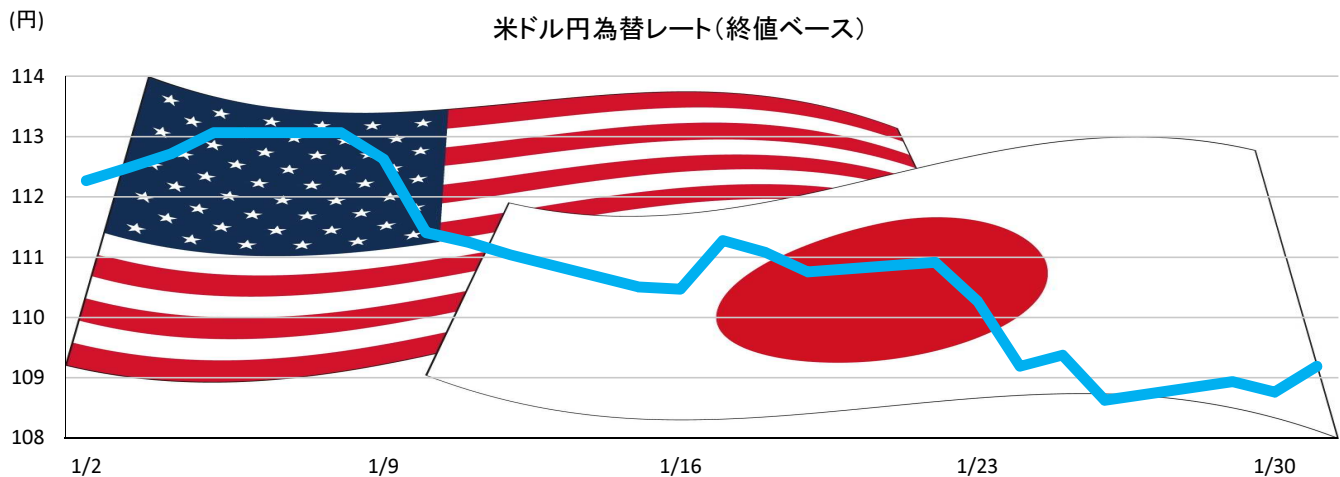


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 1月のドル円相場は、113円半ば～108円前半で推移。月初は北朝鮮問題がくすぶっている中、狭いレンジの動きだったが、中国が米国債購入縮小を提案と報道されたことをきっかけにドル売りの流れとなった。さらに米債務上限問題が大きく取り上げられ、ドル売りが加速し、110円台を割り込んでいくことに。その後、暫定予算採択の見通しが立ったことでドルは買い戻されていたが、ムニューシン財務長官が、ドル安が米国の貿易にとって良いというドル安肯定発言をきっかけに再度ドル売りが加速し108円台前半までドル安が進むこととなった。ただ、トランプ大統領が強いドルを望んでいるとの発言でドル売りは一服したものの積極的なドル買いは手控えられた。



EXTRA VISION

今後の展開: ドル円はそれまでの持合いを下離れすると108円台まで下落するなど、徐々に大きな動きを見せた。2月になって110円台を回復していたが、株式市場の暴落に巻き込まれる形で、再び108円台に突入するなど荒い展開となっている。株式市場の暴落には複数の要因があるが、パウエル氏がFRB新議長に就任するタイミングというのも興味深いところだ。FRB新議長のもと、今後の利上げのタイミングやインフレ対策などに警戒した売りという側面もあるため、今しばらくは落ち着いた動きに戻るまで注意が必要だ。今月末から来月前半にかけて注目の指標発表が目白押しでもあり、急変動に対処できるように準備しておきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
2 / 22 (木)	18 : 30	GB	英GDP改定値	☆☆☆☆
2 / 28 (水)	22 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
3 / 7 (水)	19 : 00	EU	欧州GDP確定値	☆☆☆☆
3 / 8 (木)	21 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
3 / 9 (金)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
3 / 9 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
3 / 14 (水)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。